

主因ト認メラルベキモノヲ舉ケレバ

(イ) 工業ノ勃興ニ伴ヒ多数無産労働者ノ集中シタルコト

(ロ) 戦後物價騰貴シ労働賃銀之ニ伴ハサルコト

(ハ) 資本家ノ驕奢ニ對スル労働者ノ反感

(ニ) 社會問題、労働問題ニ関スル演說文章等ニ

依リ労働者ガ新思想ニ觸レタルコト

(ホ) 露國ニ於ケル革命ノ影響

(ヘ) 大正八年以降連年開催ノ國際労働會議ノ

影響

等ニシテ同盟罷業ノ如キ明治三十年ヨリ大正三

年ニ至ル(十七年間)戦前ニ於テハ其ノ件数三百

八十三件参加人員五万六千四百九十三人ナリシ

モノ戦後大正三年ヨリ大正十二年ニ至ル十年

間ニ於テハ實ニ件数ニ於テ二千五百七十六件人

員ニ於テ三十八万二千六十四人ノ多キヲ示シ労働